



子宮頸がんワクチン ガーダシル® を受けた方へ

- ☺ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、**疲れすぎる**ことや**過激な運動**は避けましょう。いつも通りの生活・入浴は構いません。
- ☺ **接種後30分以内に息苦しさや全身のかゆみ**などが現れたときは、大至急診察を受けてください。
- ☺ **接種直後や接種後しばらくして**、心因反応や神経反応として**失神**が見られることがあります。**接種後しばらく(15~30分)**は椅子に座ることをおすすめします。
- ☺ 接種後数日は体調の変化に気をつけてください。**接種部位や体調の異常な変化**、さらに**高熱**や**けいれん**など異常な症状があった場合は速やかに**医師の診察**を受けてください。

- 今回は1回目→次は1~2ヶ月以降**
- 今回は2回目→次は3~4ヶ月以降**
- 今回は3回目=最終回** 1回目から1年以内に

※ 子宮頸がんと診断される女性は、毎年1万5,000人、そのうち2,500人の命が奪われています。とくに20歳代、30歳代の女性に増えています。

※ 子宮頸がんは「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が原因です。性交渉でだれもが感染する可能性があります。ワクチンを接種して感染を予防すれば、子宮頸がんを予防することができます。

※ このワクチンで子宮頸がんは約60%減少するとされていますが、子宮頸がんの早期発見には健診を受けることも大切です。

※ このワクチンは、肛門がん・口腔がんも予防します。アメリカでは男性にも接種をすすめています。

※ 他の予防接種との同時接種も可能です。1週間後には他の予防接種をうけることができます。